

コード	101020104
記入日	H25.5.31

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	山田 潤

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	新上五島町外国人観光客誘致推進事業
----------	-------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10102	基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進	目コード	3
事務事業コード	1010201	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	140
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金等交付規則 新上五島町外国人観光客誘致推進事業補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 外国人観光客 (対象2)	(対象指標1) 272人 (平成24年観光統計) (対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・海外からの送客を行った旅行会社 (5名以上の団体旅行、町内宿泊施設を利用) に対し、団体旅行造成経費の助成として補助金を交付した。 (平成24年度実績) →申請件数 12件 →旅行者数 226名 →交付額 678千円	***** 補助金交付件数	***** 12件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	海外 (韓国) の旅行会社から12件の申請があり、補助金を交付した。 (旅行者226人×3,000円)			
		***** 観光商談会・モニターツアー	***** 4件	***** 100%	***** 誘致活動実績÷ 計画誘致活動	***** 平成24年度
		② (達成率分析)	観光商談会 (韓国2回) とモニターツアー2回の計4回誘致活動を行った。			
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	・海外からの観光客、旅行会社に対して積極的な誘致活動を展開することが可能となり、今後の海外交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図ることができる。また、徐々に増えつつある韓国からの巡礼を目的とした観光客をターゲットに、更なる観光需要の喚起を促す。	***** 外国人観光客数	***** 226人	***** 45.2%	***** 宿泊客実績数÷ 計画宿泊客数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	500人を目標としていたが達成できなかった。今後は実績が無い旅行会社への積極的なPRが必要である。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	12	12		12	12				
	② 件	4	4		4	4				
成果指標	① 人	500	226		500	226				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	2,900	2,078		2,900	2,078				
直接事業費 A	千円	1,500	678		1,500	678				
人件費 B	千円	1,400	1,400		1,400	1,400				
内 従事職員数	人	0.2	0.2		0.2	0.2				
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内	国 補助金	千円								
	県 補助金	千円								
	起 債	千円								
	そ の 他	千円								
訳 一般財源	千円	2,900	2,078		2,900	2,078				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	海外からの観光客、特に韓国からの巡礼客は年々増加傾向にある。平成27年度の世界遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」に本町の頭ヶ島天主堂が登録されていることから、今後更なる外国人観光客の増加が見込まれるため、必要な事業である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	平成24年度の外国人観光客数は、事業実施前の23年度と比較するとおおよそ倍増しており、十分な成果がもたらされている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	本町への送客実績が無い旅行会社等へPRすることで、更なる外国人観光客増加の余地がある。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	本事業の実施は旅行会社や観光客に対して大きなアピールポイントとなっており、積極的な誘致活動を行うことが出来ている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	本町(島)への誘客については交通費コストがネックになっており、旅行商品造成にかかる助成制度は必要不可欠であることから、これ以上の事業費の削減はできない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	***** (平成24年度からの新規事業) *****
	今後、課題に向けた改善策	達成率が45.2%にとどまっているため、本町への送客実績が無い旅行会社や外国人観光客へのPRを推進し、事業の周知を図る。また、受入体制の整備も行き、更なる外国人観光客の誘客を進め、達成率の増加に繋げていきたい。

2次評価	本町は観光を主要施策として取り組んでいるが、魅力ある観光地として誘致するのが本来の姿であるとする。今後の課題として、受入体制の整備や島内消費を誘発するような事業展開のあり方を検討すること。また、補助金については3年が基本であり、見直し・検証(島内経済波及効果など)を行いながら補助のあり方を検討すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●			このまま事業を継続		●		事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●			このまま事業を継続																														
		●		事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。